第3回にしとうきょう環境アワード応募者一覧(一般の部)

No.	応募団体	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要	表彰履歴/備考	事務局表彰案
1	株式会社エネスパート (自薦)	事業者	(1) 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・普及	地球温暖化防止のため、省エネ家電機器(省エネエアコン、LED)、節ガス設備機器(エコジョーズ給湯器)、節水設備など継続的に提案している。また、断熱性能の高いリフォーム工事、節湯型シャワーヘッドの販売、施工を本年から行っている。	第2回: 環境によい製品を市民に提案	奨励賞
2	TOMOPO(共歩) (自薦)	市民団体	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	2020年12月より、毎月1回、東伏見駅の清掃を行っている。ごみは分別回収している。ごみ拾いだけでなく草取りも実施している。草を取ることが、ごみを捨てにくい環境にすることにつながり、ごみの持ち帰りによる分別廃棄の意識向上の一役を担っている。また、資源循環として、不用品を回収し、バザーを行っている。		奨励賞
3	保谷第二小学校花サークル絆 (自薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進	やぎさわ地域を花いっぱいにする「やぎさわ花エリア構想」に基づき活動している。当初は、花サークル絆のメンバーが保谷第二小学校に花を植え、それを子どもたちが手伝っていたが、現在は、子どもたちが自分ごととして主体的に学びながら活動できるよう「花大使」活動の黒子としての役割を担っている。また、東京老人ホーム、やぎさわ保育園、柳沢中学校、地域住民等地域を繋ぐ役割を持っており、地域ぐるみで環境活動、花いっぱい運動を展開する原動力となっている。		奨励賞
4	芝生の会 (他薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進	芝久保小学校児童による栽培委員会の補助を行っている(芝生維持のための雑草取り、ポット苗の移植)。また、校内、校門周りの花壇の花植えを行っている。		奨励賞
5	つながる夢花だん(自薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進	花が好きな人が集まり、花いっぱい運動を基に昨年立ち上げをした。田無庁舎スロープ、公民館にて、花植え、維持管理を実施している。		奨励賞
6	Cleanup & Coffee Club西東京/ 片野京子(自薦)	個人	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	街のごみ拾いを行うと共に、地域との交流を行っている。気軽に参加できるようハードルが低くしているので、多くの人に連鎖しやすく、一度ゴミ拾いを行うと、知らず知らずのうちにゴミに対する意識が高まることが期待できる。拾ったゴミは分別してエコプラザに持ち込んでいる。ごみ拾いの後にコーヒーを提供しているが、マイカップは持参するよう推奨している。		奨励賞
7	大森麻衣(自薦)	個人	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	子ども服のおさがり服の無料譲渡会を個人で月1回実施している。ごみの削減とともに地域交流の場を作っている。開催時にはPOP展示や紙芝居で環境問題を伝え、環境を考える講座の紹介なども行っている。		企画賞
8	西東京市シルバー人材センター (自薦)	公益社団法人	(1) 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・普及 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	①使用済みのペットボトルキャップの回収を会員に呼びかけ、回収している。 ②使用済みの牛乳パックを利用し、市民からいただいた和服布をリメイクし、名刺入れを製作している。 ③無料配布しているうちわを再利用し、うちわを作成している。 ④職員のクールビズ、ウォームビズの実施している。	第1回: 家具リサイクル事業、和洋服のリフォーム 第2回: 手作業による雑草の除草、牛乳パックを材料とした小物入れ、傘布を材料とした自転車かごカバー、ハンドルカバーの作成	奨励賞

第3回にしとうきょう環境アワード応募者一覧(学校の部)

No.	応募団体	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要	表彰履歴/備考	事務局表彰案
9	保谷小学校(自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	①毎年、5月にヘチマを植え、みどりのカーテンを育てている。4年生が中心となって育てており、ヘチマの実は授業で活用している。 ②ペットボトルキャップを回収して、リサイクルをしている。	第1回: 緑のカーテン、ペットボトルキャップの回収 第2回: 緑のカーテン、ペットボトルキャップの回収	奨励賞
10	保谷第二小学校(自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	①ふるさと探求学習としてはじめた「柳沢の街の魅力をプロデュース!」活動のまとめとして、全校児童が種から育てたパンジーとビオラを、柳沢北口商店街を利用する人に贈るとともに、花壇の植栽をした。 ②全校児童が「花大使」となって地域に花を贈る「花外交」を実施。	第1回: ヒマワリ、松葉ボタンの栽培、近隣の学校、施設に花大使による苗の贈呈	奨励賞
11	谷戸小学校(自薦)	小学校	(4) その他地球温暖化対策の推進に関する取組	①9月に始業式で地球温暖化防止のために節エネルギーは大切な要素の一つであると子どもたちに伝えた。 ②「おにぎり学校公開の日」のおにぎりづくりのときにエコ・クッキングにチャレンジすることを呼びかけた。 ③SDGsを意識したごみ分別意識の醸成。	第1回: 節電・節水など省エネの取組、校庭の芝生化、植栽、古紙回収、ごみの分別、環境学習の実施 第2回: ごみの分別、クールチョイスの登録、ビオトープの維持管理	奨励賞
12	東伏見小学校PTA(他薦)	小学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	①プリンターのインクカートリッジの回収: メーカー毎にインクカートリッジを分けて回収している。 ②テトラパックの回収: 内側がアルミのテトラパックと、内側が紙のテトラパックを分けて回収している。		奨励賞
13	東小学校(自薦)	小学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進 (4) その他地球温暖化対策の推進に関する取組	①文理台公園に着目し、みどり公園課及びボランティアスタッフの協力を得て、ごみを集め、分別をした。今後、公園にポスターを設置し、啓蒙活動を行っていく。 ②緑のカーテンを実施。		奨励賞
14	柳沢小学校(自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	環境委員会(児童会活動)と「ハッピーガーデナーズ(市民団体)」と連携し、土づくり、花壇の花植えを実施した。季節ごとに種から花を育てる活動を行い、学校にある自然を大切にし、緑あふれる学校にしていく活動をしている。		奨励賞
15	住吉小学校(自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	①「ごみの減量とリサイクル」の内容で、ごみ減量推進課職員からごみの減量や資源循環の大切さなどを教わった。 ②毎年、ヘチマやヒョウタンなどの苗を植え、校舎の外壁沿いに緑のカーテンを作っている。 ③環境委員会において、花壇の手入れを行った。 ④ごみ減量推進課から「肥料にリサイクルした土」を提供してもらい、花壇に利用した。 ⑤学校生活で出すごみの分別状況を調べて、ごみ分別の大切さを呼びかけた。		奨励賞
16	田無第一中学校IJ学級(自薦)	中学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	給食の廃油を用いて石鹸づくりを行い、できあがった石鹸を用いて白衣を洗う。廃油であっても科学的な処理を行うことで石鹸になることや、使い方次第では資源になることを学んだ。	第1回: 花いっぱい運動、牛乳パックから和紙作り 第2回: タマネギの皮の草木染め、学校の伐採木を使ったキーホルダーと鉛筆立て作り	奨励賞

No.	応募団体	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要	表彰履歴／備考	事務局表彰案
17	保谷中学校 家庭科部・ボランティア部（自薦）	中学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	家庭科部の園芸班とボランティア部が、少しでもCO ₂ の削減と環境の改善に貢献できるように、年間を通してプランターや植木鉢に花を植える活動をしている。夏季休業中は学校一丸となって、花の水やりに協力し、緑化活動に取り組んだ。	第1回：（ボランティア部）テトラパックの回収 第2回：（ボランティア部）ベルマーク、テトラパックの回収、花植活動、ペットボトルキャップの回収	奨励賞
18	田無第三中学校 生徒会（自薦）	中学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	①環境改善に貢献するためにエコキャップ活動を実施している。エコキャップ活動を全校で楽しんでもらうため、エコキャップを使った投票を実施。エコキャップの企画を行ったところ、短期間で多くのエコキャップが集まった。 ②カイロの使い捨てを回収し、愛知県の業者に送付。回収されたカイロは、加工され、汚水浄化に役立てられている。 ③紙の意見箱をデジタル化し、ペーパーレス化を行った。		企画賞
19	青嵐中で環境問題を考える(有志)（自薦）	中学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	①青嵐中学校で生徒148人に環境問題を考えるアンケートを実施し、集計結果を壁新聞にし、校内に掲載した。 ②2024年8月に環境問題の映画『マイクロプラスチック・ストーリー』を市内3箇所で見映。参加者64人となった。		奨励賞
20	柳沢中学校 花いっぱい花壇プロジェクト（自薦）	中学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	花いっぱい花壇プロジェクトを実施 正門をプランターや植木鉢に植えた花で賑やかにし、情操教育、老人ホームの憩いの場作り、柳沢地区の地域住民の憩いの場とする。	第1回：50周年花壇プロジェクト（花植計画、苗植えの実施） 第2回：花壇プロジェクトの実施	奨励賞
21	都立保谷高等学校（他薦）	高等学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	石神井川を清流にする目的で保谷高校のボランティア部が中心となって、東伏見弥生橋付近にて、石神井川の清掃を行っている。年3回実施しており、川から集めたごみは、分別し、学校に持ち帰りを行っている。多い時には50人の生徒が参加。		奨励賞